

公開研究会のお知らせ

(第25回地域経済研究集会)

地方分権改革

の現状と課題

歴史的な政権交代から3年。1990年代から進められてきた地方分権改革は、曲折を経ながらも、新たな段階に差しかかりつつあります。私たちの生活をより豊かにし、創造性と活力のある人材を育て、企業活動をより活発化していくといった観点から、これからの地方分権改革は、どのような方向に向かうのか――。

第30次地方制度調査会会長の**西尾 勝**先生をお招きして、地方分権改革の現状と課題について講演していただき、参加者の方々と一緒に考えてみたいと思います。

「社会保障と税の一体改革」により、自治体の自主財源は増えるものの一般財源は減るという“三位一体の改革”のおよそ意図しなかった結末を再現するおそれがある」「第30次地方制度調査会（大都市制度、基礎自治体の役割、住民自治）の趣旨は、自治体の首長による“勝手気儘な改革提言の噴出”に対応すること」「これからはばらぐの間、地方分権改革に対して新たな改革要求を打ち出すことは、差し控えておくほうが賢明ではないか。迂遠なようでも、地方分権改革のこれまでの成果を最大限に活用し、自治の質を高め、実績を積み上げることに専心してほしい」「国難ともいえるべき現在は、国と自治体、都道府県と市町村、地方議会と自治体首長が対立・抗争しているときではない」「道州制には慎重論者だが、次の総選挙が終わると、できもしない構想についての論戦に数ヶ月が空費されるのではないか」「地方分権改革の近未来に明るい展望を持ち得ない」「第30次地方制度調査会会長としてなし得ることは、自治体間の不毛な対立を招かないような答申に導くことだけである」[予定原稿から抜粋]

● 期日 ● 2012年 **11月30日** (金)

13:30 開場

14:00 基調講演

15:30 解題・質疑応答・意見交換

17:00 閉会

● 会場 ● **A N Aクラウンプラザホテル広島** 3階「アカシア」

● 主催 ● 地域経済研究推進協議会
中国地域シンクタンク協議会
地方シンクタンク協議会中国・四国ブロック
広島大学地域経済システム研究センター

※入場無料。定員100人。裏面の用紙で事前にお申し込みください。

地方分権改革の現状と課題

講師紹介 西尾勝（にしおまさる）氏

1938 年東京生まれ／東京大学法学部卒、行政学専攻／東京大学法学部教授、国際基督教大学教授などを経て、現在は公益財団法人の後藤・安田記念東京都市研究所（旧東京市政調査会）理事長／日本学士院会員／地方分権推進委員会（1995～2001 年）委員、地方分権改革推進委員会（2007～10 年）委員、第 27 次地方制度調査会副会長、2011 年から第 30 次地方制度調査会会長／主著として『未完の分権改革』（岩波書店、1999 年）、『行政の活動』（有斐閣、2000 年）、『地方分権改革』（東京大学出版会、2007 年）など。

参加申込用紙

参加ご希望の方は、11月27日（火）までにfaxまたは電子メールでお申し込みください。電子メールの場合、内容が分かれば書式は問いません（定員100人、無料）。「広島大学地域経済システム研究センター」で検索してください。同センターのホームページから申込用紙をダウンロードすることもできます。

団体名 _____

| お名前 | 所属・役職 | 懇親会 |
|-----|-------|-----|
| | | |
| | | |
| | | |

※この情報は、今回の公開研究会の受付以外の目的で使用することはありません。

※17:30から講師を囲んで立食形式の懇親会を開催します。参加される方は空欄に○印をつけてください。
会費（3000円）は懇親会場で申し受けます。

F a x 番号 （082）249-4991 電子メール itot@hiroshima-u.ac.jp

[お問い合わせ] 広島大学地域経済システム研究センター

広島市中区東千田町1丁目1-89

担当：伊藤 tel. (082) 542-6993

[参考]

地域経済研究集会は、地域政策の点検・評価と地域の政策形成に資することを目的として、中国四国地方を中心とした経済団体、主要企業、地方自治体、シンクタンク、大学などの関係者が参加して年1回開催しています。